

基本的な考え方

クミアイ化学グループは「人権尊重」をサステナビリティ経営の基盤と考え、「国際人権章典」や国際労働機関(ILO)の「労働における基本的原則及び権利に関するILO宣言」などの人権に関する国際規範を支持・尊重し、「クミアイ化学グループ人権に関する基本方針」を制定しています。また、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権デュー・ディリジェンスを行うとともに、当社グループの全ての役職員をはじめステークホルダーの皆様と協働して、人権の尊重を推進しています。

当社グループは、事業活動において性別、年齢、国籍、人種、民族、宗教、信条、文化、慣習、生活スタイル、価値観、学歴、社会的地位、障がいの有無、性的指向・性自認などを理由とした差別を行わず、基本的な人権を尊重することを行動規範や人権に関する基本方針に掲げています。

人権推進体制

当社は、代表取締役社長を委員長とするリスク・コンプライアンス委員会(常勤役員で構成)を設置し、コーポレートガバナンス課が事務局を担っています。委員会では、人権デュー・ディリジェンスの結果、内部通報制度における通報概要、人権課題への対応等について報告・協議しています。

人権デュー・ディリジェンス

当社グループは「クミアイ化学グループ人権に関する基本方針」のもと、「人権デュー・ディリジェンス(人権DD)のためのガイドライン」を制定し、人権課題に取り組んでいます。同ガイドラインに基づき、幅広い人権課題(リスク)の中から当社グループの事業活動により負の影響を及ぼす可能性のあるものを洗い出したところ、サプライチェーンの川上で当社グループが「負の影響を助長する可能性があるリスク」と、当社グループの事業・製品・サービスが「負の影響と関連する可能性があるリスク」が多く想定されました。このため、人権DDの取り組みはサプライチェーンの川上で優先順位が高いと認識しています。主要サプライヤーを対象に2025年に実施したアンケート調査では、サプライチェーン上で負の影響を及ぼす可能性のある人権リスクは確認されませんでした。今後も実施方法、対象範囲を適時に見直ししながら、人権DDを継続的に実施していきます。

主な取り組み

① 内部通報制度

当社は、法務・コンプライアンス部による社内窓口と専門会社による社外窓口を設置し、内部公益通報窓口を兼ねて運用しています。社外窓口は、当社グループ役職員からも通報を受け付けています。通報者は、ハラスメントやコンプライアンス違反について、実名または匿名で通報が可能です。通報を受けた場合、社内規程に基づき、調査・是正・再発防止措置を行っています。通報対応においては、秘密保持や通報者の保護等に配慮し、また

通報を行ったことを理由として不利益な取り扱い等が行われた場合には、会社が適切な救済・回復の措置を講じなければならないことを社内規定に明記し、役職員に周知しています。通報対応は、社長、法務・コンプライアンス部担当役員、常勤監査役に報告され、適切にモニタリングされています。また、社外相談窓口の連絡先を、ポスターによる掲示、コンプライアンス通信への掲載などにより役職員へ周知し、通報の実効性向上に努めています。

② コンプライアンス意識調査

当社グループは、全従業員を対象とした定期的なコンプライアンス意識調査を実施しています。本調査では、職場におけるセクシャルハラスメントやパワーハラスメントの状況、ハラスメントに関する意識等を事業所、部門、世代、雇用形態ごとに解析し、理解度や課題を把握しています。

③ 社内研修・教育

当社は、クミアイ化学の全従業員を対象に人権に関する研修を実施しています。2025年度は人権に関するeラーニングを1人当たりおよそ160分受講しました。また、コンプライアンスに関するオリジナル小冊子『規倫読本 企業人心得』を制作し、当社グループの全役職員へ配布しています。これらの活動を通じて、人権課題への理解およびハラスメント防止等の意識向上に努めています。

内部通報制度の対応実績

2025年度の内部通報は、当社グループで14件(当社で7件)でした。このうち、調査等の結果、ハラスメント等が確認された事案については、本人および関係者への注意・指導等による是正・再発防止措置を実施しました。

内部通報制度に関するデータ

	単位	2023年度	2024年度	2025年度
内部通報制度(ヘルプライン)への通報・相談件数	件	13(6)	14(6)	14(7)

(注) 対象はクミアイ化学グループ。()内はクミアイ化学単体。

国連グローバル・コンパクトへの参加

当社は、サステナビリティ経営をより一層充実させるため、国連グローバル・コンパクトに署名し、2023年9月18日付で参加企業として登録されました。



国連グローバルコンパクト
https://www.kumiai-chem.co.jp/sustainability/management/humanrights_policy/



当社グループは、持続可能な社会の実現につながる新しい価値の創出に向け挑戦し続けることで、株主様・お取引先様・従業員を含む全てのステークホルダーの幸せを追求しています。全てのステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを強化し、期待や要請を事業戦略などに組み入れることで、持続的な社会の実現と企業価値の向上に努めています。

クミアイ化学グループのステークホルダー全体に対するステートメント

当社グループは、常に透明性ある企業活動を通じて、全てのステークホルダーとの調和を図ります。

各ステークホルダーおよびそれぞれに対するアプローチ、具体的な施策等



具体的な施策 地域社会との対話

工場や研究所では、リスクコミュニケーションの一環として、地域住民やユーザーを招いた見学会を毎年実施しています。見学会では、事業説明や現場視察を行い、来場者に当社の安全意識や取り組みを知ってもらう良い機会となっています。

また、ステークホルダーに農業や農産物に対する理解を深めてもらうための啓発活動として、冊子「まもるはなし」シリーズを作成し、各地の小学校等への配布を行っています。一部の当社事業所近隣の小学校では、農業や農産物の必要性を啓発するため、学校出前授業を行っています。これらの取り組みを通じ、農業の正しい情報の発信による企業価値向上を図るだけでなく、農家の皆様や当社社員に自信を持って農業を扱っていただける環境を作ることも目指しています。

- 工場でのリスクコミュニケーション
- 工場、研究所での見学会
- 出前授業 一部の当社事業所近隣の小学校での出前授業(ファーマーズ&キッズフェスタへの出展、学びのフェスへの出展(春、夏の年2回))



出前授業の様子